



2021年7月29日

各 位

会社名 新光電気工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 倉嶋 進
コード番号 6967 東証第1部
問合せ先 経営企画室長 清野 貴博
TEL(026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 時田 隆仁
コード番号 6702 東証、名証各第1部

業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2021年4月27日発表)	108,900	18,000	18,100	12,600	93.27
今回修正予想 (B)	121,600	26,800	27,600	18,800	139.17
増減額 (B-A)	12,700	8,800	9,500	6,200	—
増減率 (%)	11.7	48.9	52.5	49.2	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	84,465	7,248	8,340	5,572	41.25

2. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2021年4月27日発表)	227,300	33,400	33,700	23,300	172.48
今回修正予想 (B)	242,000	40,600	39,500	26,900	199.13
増減額 (B-A)	14,700	7,200	5,800	3,600	—
増減率 (%)	6.5	21.6	17.2	15.5	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	188,059	23,328	26,507	18,018	133.38

3. 修正の理由

2022年3月期第1四半期連結累計期間の当社業績は、パソコンやサーバー向けにフリップチップタイプパッケージの売上が大きく増加するとともに、自動車市場の回復などを背景にリードフレームが大幅な増収となり、旺盛な半導体需要に支えられ半導体製造装置向けセラミック静電チャックの売上が増加するなど、売上・収益とも想定を上回って進捗しております。第2四半期においても引き続き好調な市場環境が継続することが見込まれ、また、為替相場が想定に比べ円安基調で推移していることなどにより、第2四半期連結累計期間の当社業績は、売上・収益ともに、想定を上回ることが見込まれます。

一方、第3四半期以降につきましては、リードフレーム、セラミック静電チャックは引き続き好調な受注環境が継続することが予想されるものの、フリップチップタイプパッケージは製品構成の変化などを背景に、期初の想定より売上が減少することが見込まれます。

このような状況をふまえ、2021年4月27日に発表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想数値を修正いたします。なお、売上高、各利益とも過去最高となる見込みです。

第2四半期連結累計期間および通期業績予想の前提となる為替レートは、第2四半期会計期間について1米ドル=105円から108円に変更しております（第3四半期以降の想定為替レートは1米ドル=105円から変更なし）。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上